

2014年4月14日 340号

# 共同センターNEWS

憲法改悪反対共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX5842-5620)

<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

## 解釈で憲法9条を壊すな！4・8集会 怒りの5000人が結集

解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に向け急ピッチで作業をすすめる安倍政権の暴走をストップさせようと、4月8日（火）、日比谷野外音楽堂で「解釈で憲法9条を壊すな！4・8集会&デモ」が開催されました。集会の主催は、全労連、新婦人、自由法曹団など128呼びかけ賛同団体です。「新聞で知った」「駅頭でチラシをもらった」等と、5000人が参加しました。

開会前から会場は満杯状態となり、中に入れず、外で聞こえてくる集会の音声に耳を傾ける人が大勢いました。プレ企画では3団体からショートスピーチと戯作家の松崎菊也さんのパフォーマンスが行われ、松崎さんの麻生副総理や安倍首相の物まねに会場は笑いに包まれました。



### 「限定行使」論は何の歯止めにもならない「まやかし」 日本共産党志位委員長

政党からは、日本共産党志位委員長、社民党吉田党首、沖縄社大党系数委員長、さらに民主党、生活の党から連帯のあいさつがありました。

日本共産党の志位委員長は、集団的自衛権とは「日本に対する武力攻撃がなくても日本が武力を行使すること」であり、行使を容認するというのは、「海外での武力行使」への歯止めを外すことだと指摘しました。そして、憲法9条を事実上削除するのと同じになり、「憲法が憲法でなくなる」と訴えました。さらに、「限定行使論」に触れ、「限定行使」というのが何の歯止めにもならない、こんなまやかしの議論で「海外で戦争する国」への暴走を許すわけには断じていかないと語りました。

### 大江健三郎氏 「憲法を守るために『示威運動』を！」と呼びかけ

次に、作家の大江健三郎氏がスピーチ。大江さんは夏目漱石が訳した「示威運動」を紹介し、「憲法を守るために『示威運動』を！」と呼びかけました。

ちょうど100年前に夏目漱石は「こころ」を書きました。そして、デモンストレーションという言葉翻訳して、「示威運動」という訳語をつくりました。日本では、この言葉は流行しませんでした。日本は、ずっとデモンストレーションがない社会だったからです。

その漱石が死んで、あの戦争が始まりました。広島、長崎を経験して、戦争に敗れました。そして、今から67年前に日本人は新しい憲法を作りました。その憲法を自分たちの新しい時代の精神として生き始めたわけです。

戦争をしない、民主主義を守るという根本の精神が、私の生きた時代の精神なのです。それを私は死ぬまで守り抜きたいと思っています。

ところが今の政府は、67年間守り抜いてきた時代の精神を、ぶっ壊そうとしています。それも民主主義でない方法で。国民投票も何もなしに、一挙にぶち壊そうとしています。

守るためにとりうる方法が「示威運動」です。未来の子どもたちのための最も大切な、最も難しい仕事は、この集会、デモから始まるということ、強く自覚したいと思います。しっかり歩きましょう。

### 「戦争させない1000人委員会」等から連帯あいさつ

その後、「秘密保護法廃止へ実行委員会」の白石孝さん、「戦争させない1000人委員会」の清水雅行事務局長代行、日本弁護士連合会憲法委員会副委員長の伊藤真氏が連帯あいさつを行いました。

集会は、各界の諸団体からのショートスピーチ、アピール採択、デモ指示が行われ、終了。集会後、銀座デモと国会請願デモの2コースでデモが行われました。国会請願デモにも多数の人々が参加し、衆院・参院議員面会所前での日本共産党や社民党への請願では、両党の議員とともに「集団的自衛権の行使容認反対！」「憲法を守ろう！」等とのシュプレヒコールをあげました。

# 「戦争する国づくり許すな！ 特定秘密保護法廃止へ！」 全国交流集会に300人参加

憲法会議が呼びかけ 17 団体が賛同団体として、12 日「戦争する国づくり許すな！ 特定秘密保護法廃止へ！ 全国交流集会」が、文京区民センターで開催されました。北海道や徳島県など全国各地から 300 人が参加しました。

冒頭、自由法曹団の篠原団長があいさつに立ち、秘密保護法の廃止を求め、解釈改憲による集団的自衛権の行使容認を許さない共同が大きく発展していると強調し、「激動のたたかいが予想される。戦線を大きく広げよう」と語りました。その後、「秘密保護法廃止へ！ 実行委員会」の前田出版労連特定秘密保護法廃止特別委員会事務局長が連帯あいさつ、さらに日本共産党の笠井晃衆議院議員が国会情勢報告を行いました。

そして、渡辺治一橋大学名誉教授が 1 時間に渡り、『戦争する国』に向け暴走する安倍政権、集団的自衛権と秘密保護法』をテーマに講演しました。

特別報告を 3 人が行い、新潟からは「特定秘密保護法の撤回を求める新潟県女性の会」立ち上げ後、700 人を超える賛同が寄せられていること、長野からは「集団的自衛権の行使容認に反対する意見書を 3 月までに 23 議会が可決したこと、愛知からは弁護士と市民が共同で学習会やデモにとりくんでいる経験が語られました。その後、各団体等のとりのくみ報告や講演に対する質問が出されました。

参加予想人数を大幅に上回り、参加者の皆さんにご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。（詳細は次号）

## //各地・団体のとりくみ//

### 大阪

### 淀屋橋で府的「9の日」宣伝

大阪憲法会議・共同センターは、4月9日午後5時から淀屋橋で府的「9の日」宣伝行動を 12 人で行いました。1 時間の宣伝で 300 枚のビラを配布、署名は 12 人分集まりました。ビラの受け取りはきわめてよく、集団的自衛権行使容認への府民的な不安が広がっているのを感じました。

清水ただしさん（日本共産党）、渡部さつきさん（新婦人）、鴻村博さん（大阪労連）、佐々木正博さん（自由法曹団・弁護士）、神村鈴江さん（自治労連）、末光彰浩さん（大教組）の 6 人がそれぞれの立場から「日本を戦争する国にさせない」と力強く訴えました。

大阪憲法会議・共同センターは、「5・3 憲法記念日のつどい」「6・1 戦争への暴走 STOP！ 御堂筋パレード」の成功とともに、今後、府下全駅での一斉宣伝行動の提起を予定しており、国会後半の安倍政権の暴走にストップをかける府民的な世論喚起を訴えていくことにしています。



### 大阪

### 改憲阻止に向けて、奮闘する宗教者

<新聞「宗教と平和」より>

大江健三郎さん安倍政権を批判

「北御堂公開講座」（主催：「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）大阪教区委員会）で

3月18日、浄土真宗本願寺派の津村別院本堂で「北御堂公開講座」が開かれ、講演した作家の大江健三郎さんは平和や憲法9条、原発再稼働の動きなど安倍政権の暴走を批判しました。

大江さんは、自民党の憲法草案を、戦後の「人が個人として尊重される新しい憲法」の原点を根底から覆そうとするものであり、「憲法9条を忘れ、戦争を心配しなければならない時代」になると警告。また、東日本大震災後、国民の多数が原発の脅威のない社会をめざしており、「原発再稼働」の動きと並行して集団的自衛権の容認の動きがすすんでいることについて、「新憲法の原点とまったく違う国になってしまう」と警告しました。

同派は「人権運動大阪教区委員会」人権社会部の小倉雅昭部長が主催者を代表して「非戦平和の問題にこれからもかかわっていききたい」と語りました。

**憲法を学び、生かし、平和な日本と世界を！**